

施策評価調書(30年度実績)

政策体系	施策名	みんなで進める健康づくり運動の推進	所管部局名	福祉保健部	施策コード	I-2-(1)
	政策名	健康長寿・生涯現役社会の構築 ～健康寿命日本一の実現～	関係部局名	福祉保健部、教育庁	長期総合計画頁	39

【Ⅰ. 主な取組】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	健康づくりのための県民運動の展開	対象を明確にした生活習慣病対策の推進	健康を支える社会環境の整備	介護予防の推進
取組No.	⑤			
取組項目	総合的な自殺対策の推進			

【Ⅱ. 目標指標】

i	指 標	関連する取組No.	基準値		30年度			元年度	6年度	目標達成度(%)					
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i	健康寿命(歳) (日常生活に制限のない期間の平均)	男性	①	H22	69.85	71.80 (H28)	71.54 (H28)	99.6%	71.80	73.75					
		女性	①	H22	73.19	75.11 (H28)	75.38 (H28)	100.4%	75.11	77.03					

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i	達成 生活習慣病の発症・重症化予防等に加え、地域包括ケアを推進し、高齢者の介護予防に力を入れてきたことなどにより、目標値を概ね達成した。 なお、健康寿命は、国が3年に1度行う国民生活基礎調査に基づく指標であり、H30年度の目標値と実績値は直近のH28年度実績の数値を記載している。	達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・経済団体や保健医療福祉39団体で構成する「健康寿命日本一おおい創造会議」や、「健康寿命日本一おうえん企業」(84社)によって、県民総ぐるみでの健康づくりを推進した。 ・働く世代の運動習慣定着に向け、健康アプリ「おおいた歩得」の運用を開始し、普及を促進した。(H30:30,706ダウンロード) ・健康寿命延伸推進月間中に、市町村や関連団体と連携して健康づくりイベントを実施し、延べ150,050人が参加した。(前年比115.1%)
②	<ul style="list-style-type: none"> ・歯みがき指導、食に関する指導、フッ化物の活用 の三本柱の取組により、児童・生徒の歯と口の健康促進が図られた。(フッ化物洗口全学年実施小・中学校226校(H29:113校)) ・県民健康意識行動調査で明らかになった地域の健康課題に応じて、市町村や関係機関と連携した健康づくりの取組を行った。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯健康県おおい21推進協力事業所(店)の拡大に取り組むなど、健康づくりを支援する環境の整備を推進した。(H30 食の環境整備部門:486施設、受動喫煙対策部門:287施設、健康経営推進部門:372か所)
④	<ul style="list-style-type: none"> ・支援マニュアルを活用した研修会や通いの場等への講師派遣を通し、地域住民が自助・互助による介護予防に取り組めるよう支援した。 ・リハビリテーション専門職等を派遣(モデル4市・6事業所)し、自立支援型サービスの拡大を図った。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員や教職員を対象にした自殺対策専門研修の実施(受講者数:225人)や、各種相談窓口の連携を図るためのネットワーク会議を開催し情報交換・研修等を実施した。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(30年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	元年度の方向性	
①	地域スポーツ活性化推進事業	6,971	A	終了	277
①③	みんなで進める健康づくり事業	36,730	A	継続・見直し	63
②	児童・生徒の歯と口の健康促進事業	10,535	A	継続・見直し	260
	スクールヘルスアップ事業	12,153	C	継続・見直し	261
②③	地域の健康課題対策推進事業	18,322	A	継続・見直し	64
④	地域介護予防推進事業	6,338	A	継続・見直し	65
⑤	自殺予防対策強化事業	30,444	A	継続・見直し	66

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○健康寿命日本一おおい創造会議(H30.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県や他のおうえん企業と連携し、自社の強みを活かして県民の健康づくり支援に貢献したい。 	<p>○健康寿命日本一おおい創造会議(H31.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の日(8月31日)を中心に野菜摂取を呼びかけ、県の取組と企業コンセプトを合わせることで、県民の皆さんの健康づくりの意識を高めることができる。
---	---

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・「おうえん企業」の取組や企業・創造会議構成団体との連携、部局間連携事例の創出など、健康づくりのプラットフォームとして創造会議の更なる機能強化を図る。 ・塩分控えめでも美味しい食事の普及を図る「うま塩プロジェクト」で培ったネットワークを活用し、野菜摂取量が少ない若い世代を中心に野菜摂取の促進に向けた取組を強化する。 ・自立支援型サービスを提供する介護サービス事業所の育成支援に取り組むとともに、通いの場等で住民が活用できる介護予防マニュアルや体操等のプログラムの普及を通し、県民主体の介護予防の推進と自助・互助による介護予防活動の強化・充実を図る。 ・保健所を拠点に市町村や関係機関と連携して地域の健康課題に応じた施策を展開するとともに、市町村の健康増進施策を支援し、健康課題の解決に取り組む。 ・「いのち支える大分県自殺対策計画」に基づき、子ども・若者や労働者・経営者対策等を実施し、「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指す。